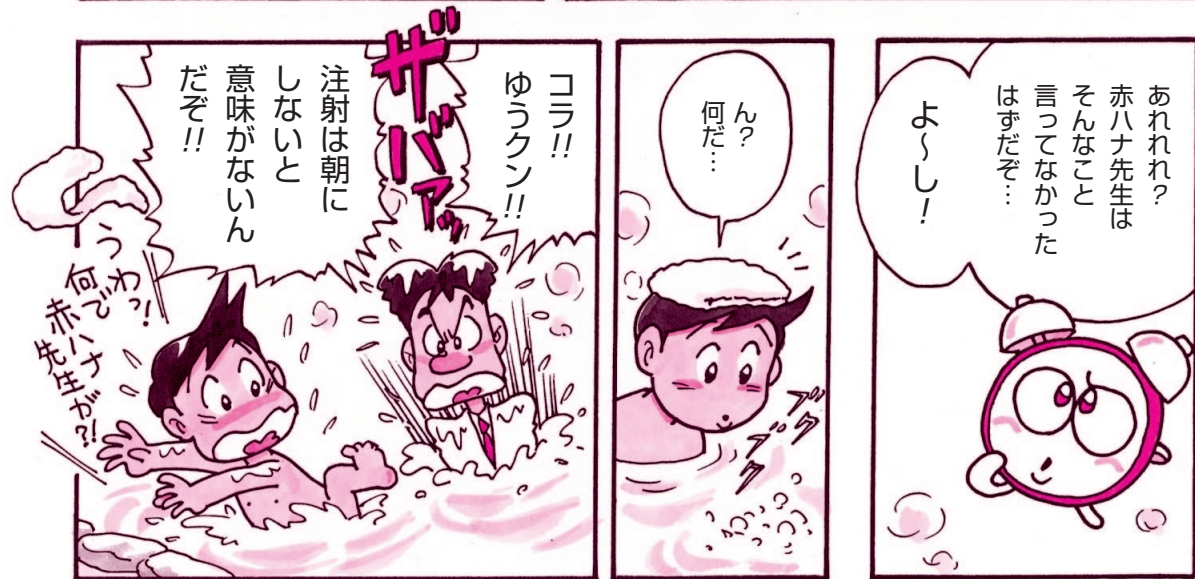
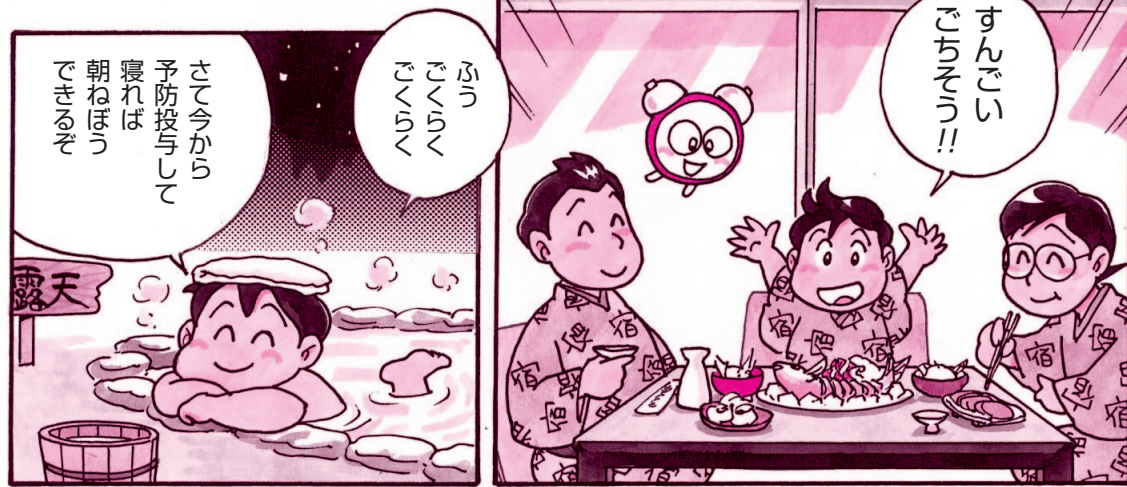
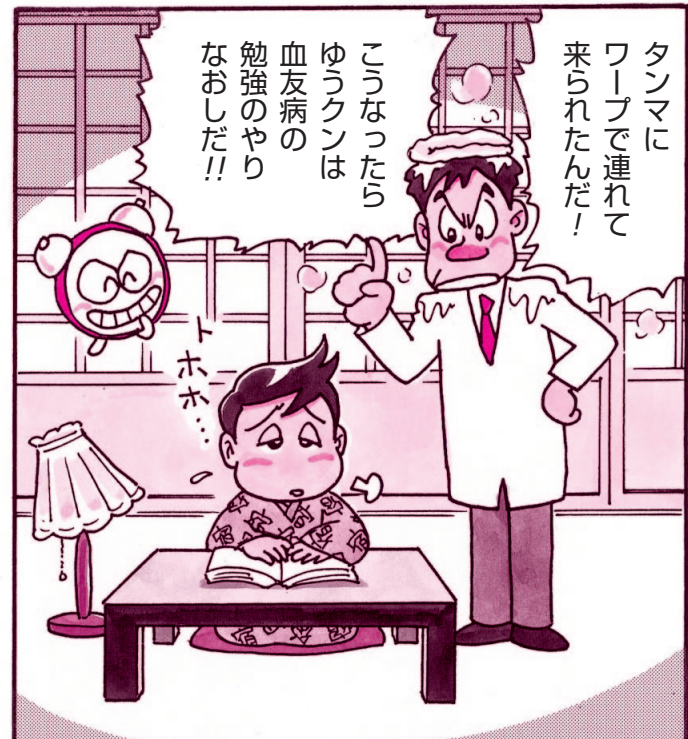




アテンション・メモ

旅行など長期間自宅を留守にする場合は血液凝固因子製剤を持参します。また、出血するおそれのある活動をする時は、前もって製剤を輸注しておきます。凝固因子の活性は時間経過とともに低下しますので、夜よりも朝の活動前が効果的です。



※旅行先や日常的に血友病を診療していない医療機関で受診すると、医療費の一時立て替え払いを求められる場合があります

